

# 立命館大学考古学論集 Ⅲ-1 目次

南九州の縄文時代早期前半期に関する覚書 —加栗山式土器段階を中心に—	上 杉 彰 紀	1
黄島貝塚再考	遠 部 慎	15
滋賀県粟津湖底遺跡から出土したイノシシ —イシヤマブタ（仮称）をめぐって—	伊 庭 功 道 岸 史 子	31
山陰地方中央部における北白川下層式系土器の編年学的研究	網 谷 克 彦	43
中津式土器成立期の諸相	穂 積 裕 昌	65
山陰中部域における縄文時代後期土器の地域性 —とくに「中津式」の小地域性について—	柳 浦 俊 一	79
東海地方における福田K2式期土器群の様相	小 濱 学	95
八日市新保式土器再考	西 野 秀 和	109
北海道縄文晩期後葉の土器製作技法について —江別市 <sup>ついで</sup> 対雁2遺跡土器集中1の事例から—	鈴 木 信 西 脇 対名夫	123
滋賀里式再考 —西日本縄文晩期土器様式の構造転換—	岡 田 憲 一	143
京都府における凸帯文土器の編年	中 村 健 二	157
西部瀬戸内地域の刻目突帯文土器編年試案	小 南 裕 一	171
大和における最終末の凸帯文土器	豆 谷 和 之	185
比叡山西南麓における縄文から弥生 —京都大学構内遺跡出土資料の紹介と検討を通じて—	伊 藤 淳 史	193
出雲地域における縄文・弥生移行期の遺跡の特徴について	中 川 寧	207
縄文時代から弥生時代への続き方の構造	南 久 和	231
顔のない土偶	大 野 薫	247
「高柳型」土偶について	田 邊 朋 宏	265
四国地域の石棒・石刀	中 村 豊	271
縄文時代の近江盆地における遠隔地石材の増大 —石材組成と重量分布からみた類推—	瀬 口 眞 司	285

直接打撃と押圧剥離　－石器製作における微細剥片の解釈－	長井謙治	295
長野盆地東縁、保科川扇状地に立地する宮崎遺跡の堆積環境変遷	小野映介 小河角龍典	315
長野市宮崎遺跡で発見された縄文晩期の乳児埋葬人骨	藤澤珠織 片山一道	323
頭位方向は社会組織を表すのか －縄文時代の人骨出土例による再検討－	山田康弘	341
『恵山式土器』『恵山文化』の成立に係わる一試論	佐藤由紀男	367
弥生集落遺跡から出土する突帯文土器の意味 －高宮八丁遺跡出土の突帯文土器－	濱田延充	383
長門北浦地域における弥生文化の成立	田畑直彦	395
弥生文化早期における壺形土器の受容と展開	中村大介	415
混成そして地域色へ　－伊勢地方の弥生文化の理解に向けて－	竹内英昭	433
口縁部形態からみた弥生前期甕形土器 －雲宮遺跡(長岡京左京216次調査)出土資料を中心として－	桐山秀穂	441
西部瀬戸内地方における土器からみる交流実態 －弥生時代前期後葉～中期中葉を考える－	梅木謙一	453
土器装飾からみた九州北部の地域間関係 －弥生時代中期の丹塗土器を素材として－	長友朋子	475
大陸系青銅器模倣土製把手	角南聡一郎	491
鳥取県西部地域の弥生時代後期土器　－甕と壺を中心に－	濱田竜彦	503
弥生土器の移動比率 －生駒山西麓・河内湖東岸部遺跡群における集計データから－	秋山浩三 朝田公年 中川二美 池谷梓	523
弥生時代開始期の石器技術　－石鏃について－	吉留秀敏	537
弥生時代の飾弓　－いわゆる有栓弭形角製品について－	藤井整	549
文京遺跡の弥生前期集落	吉田広	563
集団の形成　－六甲南麓地域の弥生集落－	丸山潔	573